

第5回旭川駅周辺かわまちづくり計画推進ワーキング 議事要旨

日 時：令和7年3月4日(火) 18:00~20:30

場 所：旭川合同庁舎 東館1階 入札執行室

出席者：佐藤座長、鈴川委員、大黒委員、荻野委員、馬場委員、小原委員、川辺委員、山田オブザーバー
計8名

議 題：前回WGの振り返り、施設設計、各事業の報告、次年度の取り組み、今後のスケジュールについて



1. 議題に対する意見

(1) 施設設計

[ツインハーブ橋上流]

- ・ 工事箇所近傍で毎年同じように産卵している場所は産卵条件が良いので、そういったところはやはり保全してほしい。
- ・ 例えば、クサヨシ等が生い茂っていれば、時間の経過とともにその場所を使うのに支障が出る状態になることが予想されるので、対策も含めて草本類の調査を行ってほしい。

[神楽岡公園]

- ・ 毎年途切れることなく、同じ場所を産卵場所として選んでいるので、産卵する場所を大事にしてほしい。
- ・ 右岸の河道整正の必要性、掘削断面の考え方について再度確認してほしい。
- ・ まずは左岸の親水広場を整備して、親水広場の利活用に影響が出るため右岸の河道整正をするといったモニタリング調査をしながら段階的な整備を考えてもらいたい。
- ・ 右岸河道整正箇所、サケの産卵行動観察会を実施。どうしても必要なのであれば河道整正はやむを得ないが、検討する余地があるのであれば留意していただけるとありがたい。

[JR 旭川駅南口]

- ・ 周辺の産卵床は、過去からずっとシロザケ、サクラマスが産卵場所として利用している良い条件なので、そういった場所で工事をする際は慎重に考えてほしい。
- ・ 氷点橋の下流のところにちょっとした細工をすることで、右岸側に流すことも可能だと思う。
- ・ 水制工は、水面から出さずに水中に置いてもらうような状態、川底から少し高くなっていれば問題ない。モニタリングしながら施設を守っていく形にするとよい。

- ・水制工の設置によって砂利が溜まるとそこにシロザケ、サクラマスが産卵するし、駅裏で産卵行動が見られるのであれば関心を持ってくれる人も集まると思う。
- ・前回、少しカヌーポートの話になったが、川で遊ぶ我々について、思い描く絵面に対しての回答はほとんどと言っていいほど反映されておらず、何のためのアドバイザーなのか、分からない。
- ・流水部分の作業は、産卵時期に差し掛かる 8 月までに完了させるだけではなく、孵化後 5 月下旬まで泳ぎ出す魚がいるので、6 月から開始するよう配慮してほしい。流水部分以外を水面よりも掘り下げて作業する際は川底に卵や稚魚がいるので濁水を出さないように配慮してほしい。
- ・左岸（忠別橋とクリスタル橋）への乗り入れについて、普通の維持管理で使うようなトラックや乗用車だけでも通れるようにしてほしい。

(2) 各事業の報告について

- ・特に意見なし。

(3) 次年度の取り組みについて

- ・特に意見なし。

(4) 今後のスケジュールについて

- ・特に意見なし。

2. 情報連絡・意見交換

旭川観光コンベンション協会から川のまち旭川マップの紹介

以上